【従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表作成時の注意点】（重度障害者支援加算Ⅱ）

別紙2-2（その他）

＊ 変更の場合は変更年月日の当該月分、更新の場合は更新月分

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表(予定・実績表)（ ○ 年 △ 月分）

サービス種類	生活介護	事業所・施設名	生活介護●●	主たる・従たるの別、サービス単位名又は共同生活住居の名称 ※1	
定員 ※2 20 人	前年度の平均利用者数 ※3	13.2 人	基準上の必要職員数 ※4	2.7	
人員配置区分 ※5	5 : 1	平均障害支援区分 ※6	4.7	【GHのみ】入居者の区分別人数 ※7	区分3 区分4 区分5 区分6

職種	勤務形態	資格	氏名		第1週 1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	第2週 8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	第3週 15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	第4週 22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	第5週※12 29	30	31	4週(1月)の合計	週平均の勤務時間	他の事業所の名称及び職名	他事業所での合計勤務時間数 ※14
管理者	②		A	予定	4	4	4	4	4							4			4	4	4	4	4			4	4	4								80	20		
				実績																																			
サービス管理責任者	②	行動援護従事者養成研修（実践）	A	予定	4	4	4	4	4							4			4	4	4	4	4			4	4	4								80	20		
				実績																																			
生活支援員	①		B	予定	4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4						80	20		
				実績																																			
生活支援員（重度）	①	行動援護従事者養成研修（基礎）	B	予定	4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4			4	4	4	4	4						80	20		
				実績																																			
生活支援員	①	介護福祉士	C	予定	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8						160	40		
				実績																																			
生活支援員	①	行動援護従事者養成研修（基礎）	D	予定	8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8			8	8	8	8	8						160	40		
				実績																																			
生活支援員	③	行動援護従事者養成研修（基礎）	E	予定	2	4	4	2				2	4	4	2				2	4	4	2				2	4	4	2							48	12		
				実績																																			
生活支援員	③		F	予定	6	6	6	6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6						120	30		
				実績																																			
生活支援員	③		G	予定	2			2	4			2			2	4			2			2	4			2			2	4						48	12		
				実績																																			
看護職員	③	看護師	Y	予定	6	6	6	6	6													6			6	6	6	6	6						120	30		
				実績																																			
医師	③	医師	Z	予定					1													1							1						4	1		
				実績																																			

常勤職員の勤務すべき時間数 ※15　1日： 8時間00分　1週： 40時間00分　1か月単位 ・ 1年単位　対象職種：　労基届出日：　）

サービス提供時間　：　～　：　夜間支援時間帯※7　：　～　：　変形労働時間制（毎月1日が属する週から記載）：　月　日～　月　日　左の期間の常勤の勤務すべき時間数：　時間　分 ）

加算対象者の最大15名まで個別の評価算定

加算対象者の最大10名まで個別の評価算定

基礎研修修了者のうち、個別の支援する日については1名以上かつ4時間以上は加配とする必要がある。行を2段にし、加配がわかるようにすること。

4時間未満の日は加算対象利用者の支援をしても個別の評価は算定できない。

加配職員の時間数を除いた常勤換算数もわかるようにすること。加配職員の時間数を含む生活支援員全体と加配職員の時間数を除く生活支援員の合計等を分けることが望ましい。

従業者の職種・員数	職種		サービス管理責任者		看護職員		生活支援員		生活支援員（重度加配除く）		医師						←適宜、該当の職種を記載
	専従・兼務の別		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
常勤（人）	①	②		1			3		3								
非常勤（人）	③	④			1		2		2		1						
当該職種の勤務延べ時間数（A）	予定		80		120		696		576		4						←4週(又は1月)の合計数
	実績																
当該職種の常勤が勤務すべき時間数（B）			160		160		160		160		160						←4週(又は1月)の合計数
常勤換算後の人数（A／B）	予定		0.5		0.7		4.3		3.6		0.0						←小数第2位以下切り捨て
	実績																